

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その14）

～JTBF旅行意識調査結果より～

2021年10月4日

公益財団法人日本交通公社
観光文化振興部・観光地域研究部

調査結果

| | |
|------------------------------------|--------|
| 1. コロナ禍における旅行意向 | … p.4 |
| 2. コロナ禍での旅行実施の判断 | |
| (1) 政府・自治体の要請への意識 | … p.8 |
| (2) 国内旅行の実施に影響を及ぼす項目 | … p.11 |
| (3) 海外旅行の実施条件 | … p.12 |
| 3. 今後の旅行で行きたい地域・あまり行きたくない地域 | |
| (1) コロナ禍における旅行 | … p.13 |
| (2) 今後の旅行 | … p.14 |

調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査
 調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出*）
 調査方法 : 郵送自記式調査*

■ 20年5月調査 調査期間：2020年5月20日～6月5日

| 年齢（歳） | 男性 | | | | | | | | 女性 | | | | | | | | 合計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | |
| 標本の大きさ（人） | 34 | 91 | 113 | 150 | 120 | 137 | 100 | 745 | 22 | 78 | 111 | 127 | 116 | 149 | 124 | 727 | 1,472 |
| 構成比（%） | 2.3 | 6.2 | 7.7 | 10.2 | 8.2 | 9.3 | 6.8 | 50.6 | 1.5 | 5.3 | 7.5 | 8.6 | 7.9 | 10.1 | 8.4 | 49.4 | 100.0 |

■ 20年12月調査 調査期間：2020年11月26日～12月10日

| 年齢（歳） | 男性 | | | | | | | | 女性 | | | | | | | | 合計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | |
| 標本の大きさ（人） | 15 | 97 | 107 | 128 | 126 | 121 | 106 | 700 | 17 | 85 | 131 | 151 | 119 | 141 | 120 | 764 | 1,464 |
| 構成比（%） | 1.0 | 6.6 | 7.3 | 8.7 | 8.6 | 8.3 | 7.2 | 47.8 | 1.2 | 5.8 | 8.9 | 10.3 | 8.1 | 9.6 | 8.2 | 52.2 | 100.0 |

■ 21年5月調査 調査期間：2021年5月26日～6月16日

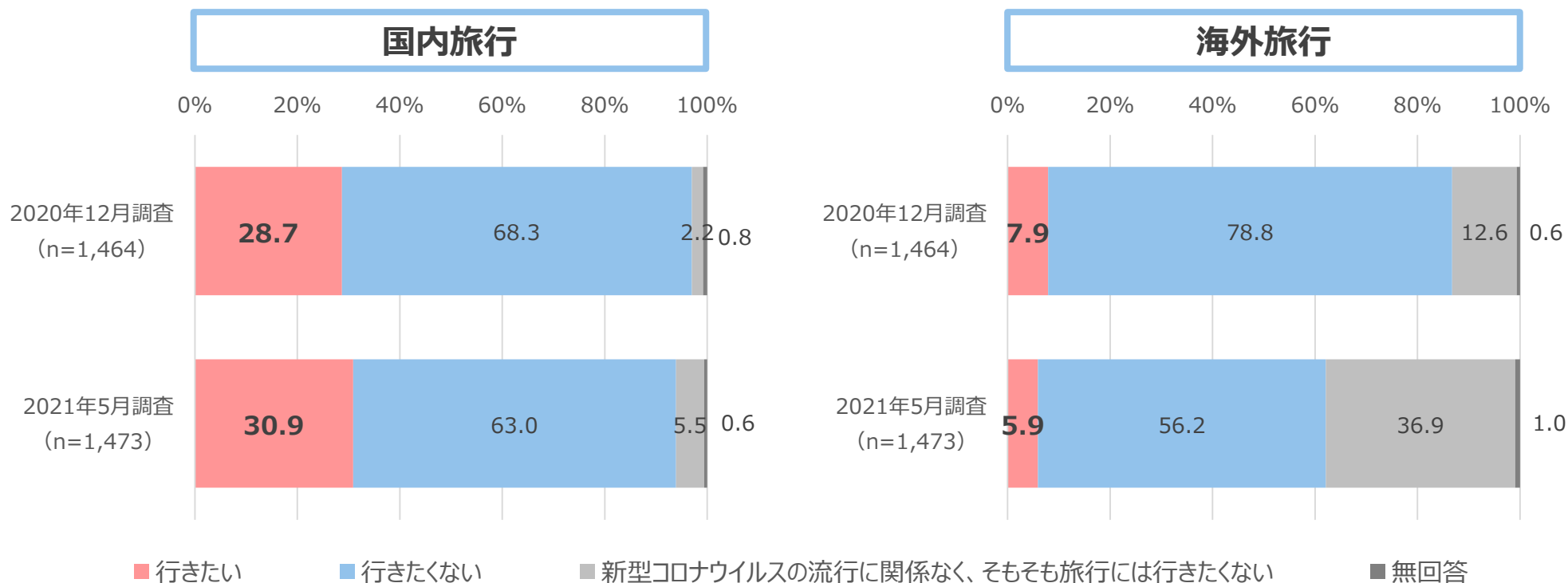
| 年齢（歳） | 男性 | | | | | | | | 女性 | | | | | | | | 合計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | 18-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 計 | |
| 標本の大きさ（人） | 14 | 108 | 126 | 151 | 113 | 127 | 110 | 749 | 13 | 103 | 105 | 132 | 106 | 149 | 116 | 724 | 1,473 |
| 構成比（%） | 1.0 | 7.3 | 8.6 | 10.3 | 7.7 | 8.6 | 7.5 | 50.8 | 0.9 | 7.0 | 7.1 | 9.0 | 7.2 | 10.1 | 7.9 | 49.2 | 100.0 |

* 国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当てた。これにより、地域、性年代の偏りなく調査対象を抽出した。
 その上で郵送により調査票を送付し、回答者自身が記入を行う自記式により回答を得た。

コロナ禍においても旅行に行きたい **国内3割、海外1割未満**

- 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいかを尋ねたところ、国内旅行については20年12月調査、21年5月調査いずれも、約3割が「行きたい」と回答しました。
- 一方、海外旅行では、「行きたい」は20年12月調査、21年5月調査いずれも1割未満にとどまりました。

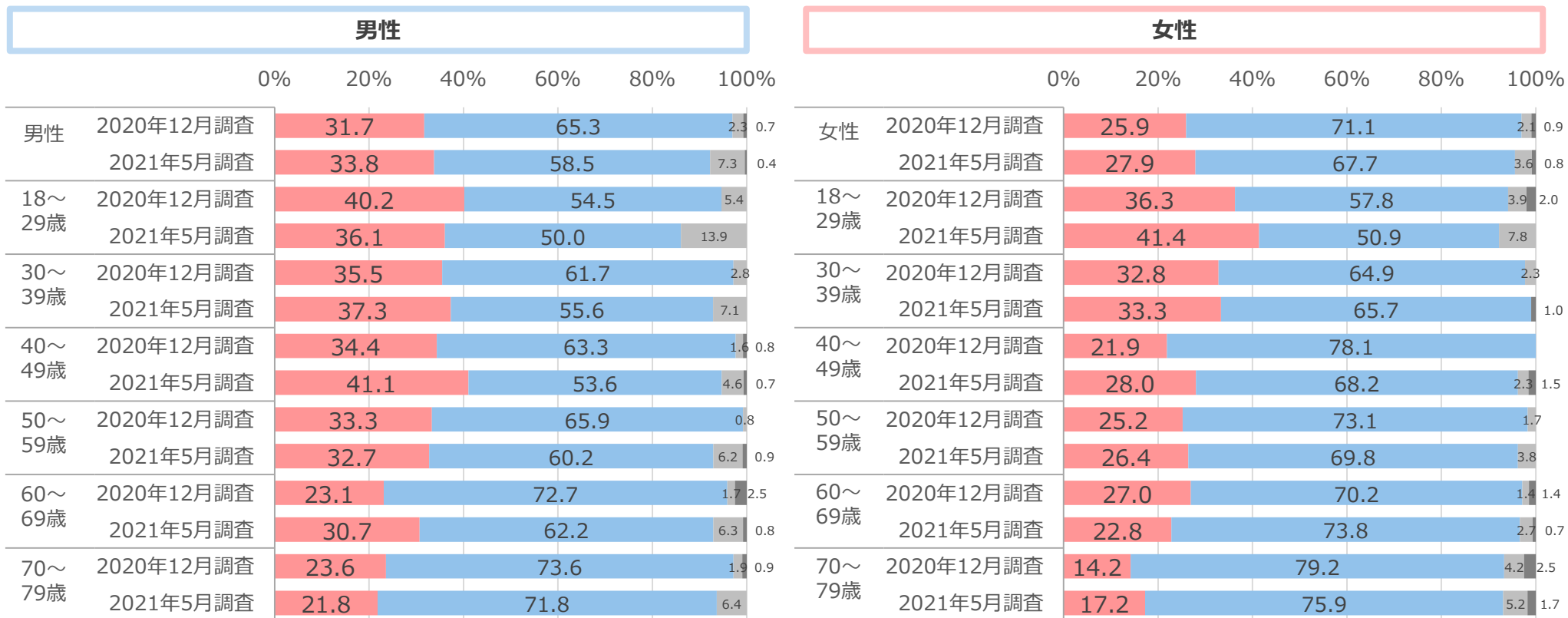
Q. 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいと思えますか。



コロナ禍における国内旅行 70代は依然として慎重な姿勢

- コロナ禍における国内旅行への意欲は、男性の方が女性よりやや高い傾向が見られました。また、「行きたい」は、20年12月調査から21年5月調査にかけて男女ともに微増しているものの、顕著な変化は見られませんでした。
- 年代別にみると、男女ともに70代は「行きたい」が比較的少なく、旅行に慎重な姿勢が見られました。20年12月調査から21年5月調査にかけて、10ポイント近く旅行意欲の回復が見られたのは、男性では40代と60代、女性では20代と40代でした。

Q. 現在のコロナ禍において、国内の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いませんか。

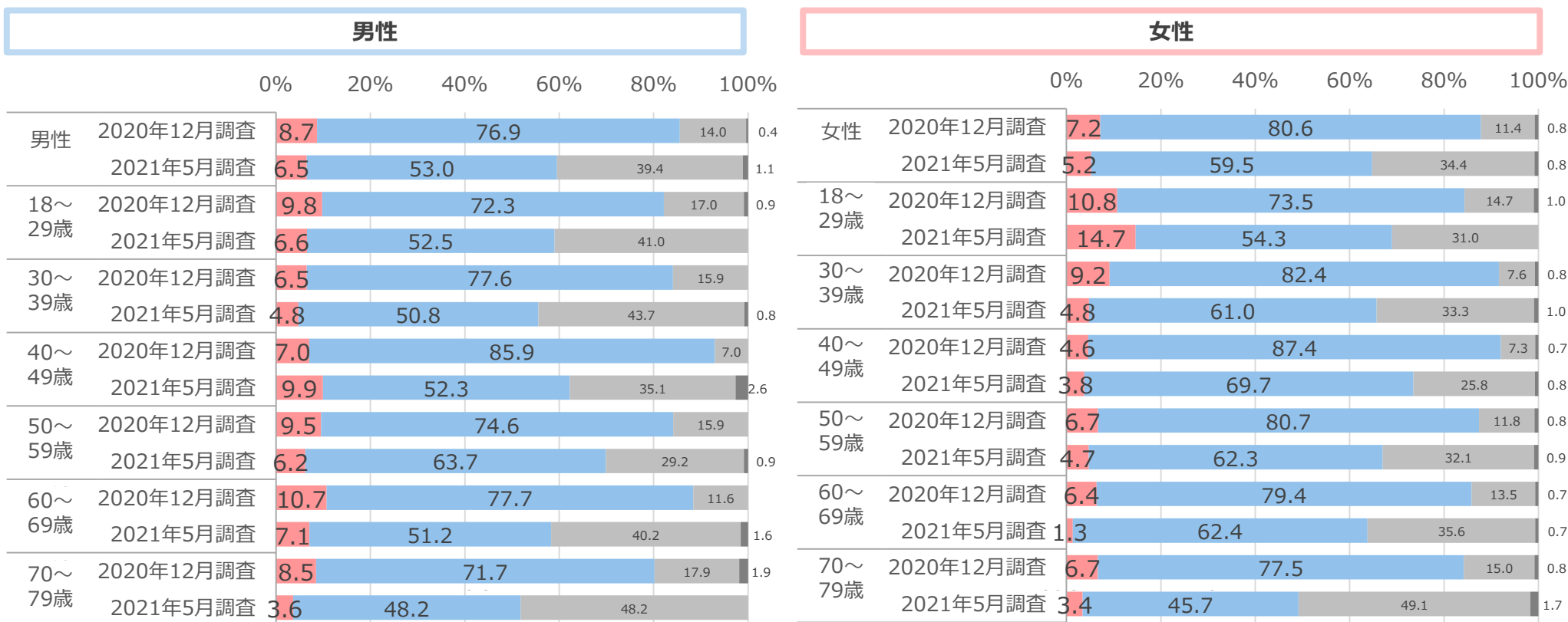


■ 行きたい ■ 行きたくない ■ 新型コロナウイルスの流行に関係なく、そもそも国内旅行には行きたくない ■ 無回答

コロナ禍における海外旅行 男女ともに「行きたい」は1割未満

- コロナ禍における海外旅行への意欲は、男女で顕著な差はみられませんでした。
- 年代別でも顕著な差はみられず、いずれの年代でも「行きたい」が1割にとどまり、コロナ禍での海外旅行に対しては依然として慎重な姿勢がみられました。

Q. 現在のコロナ禍において、海外の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いますか。

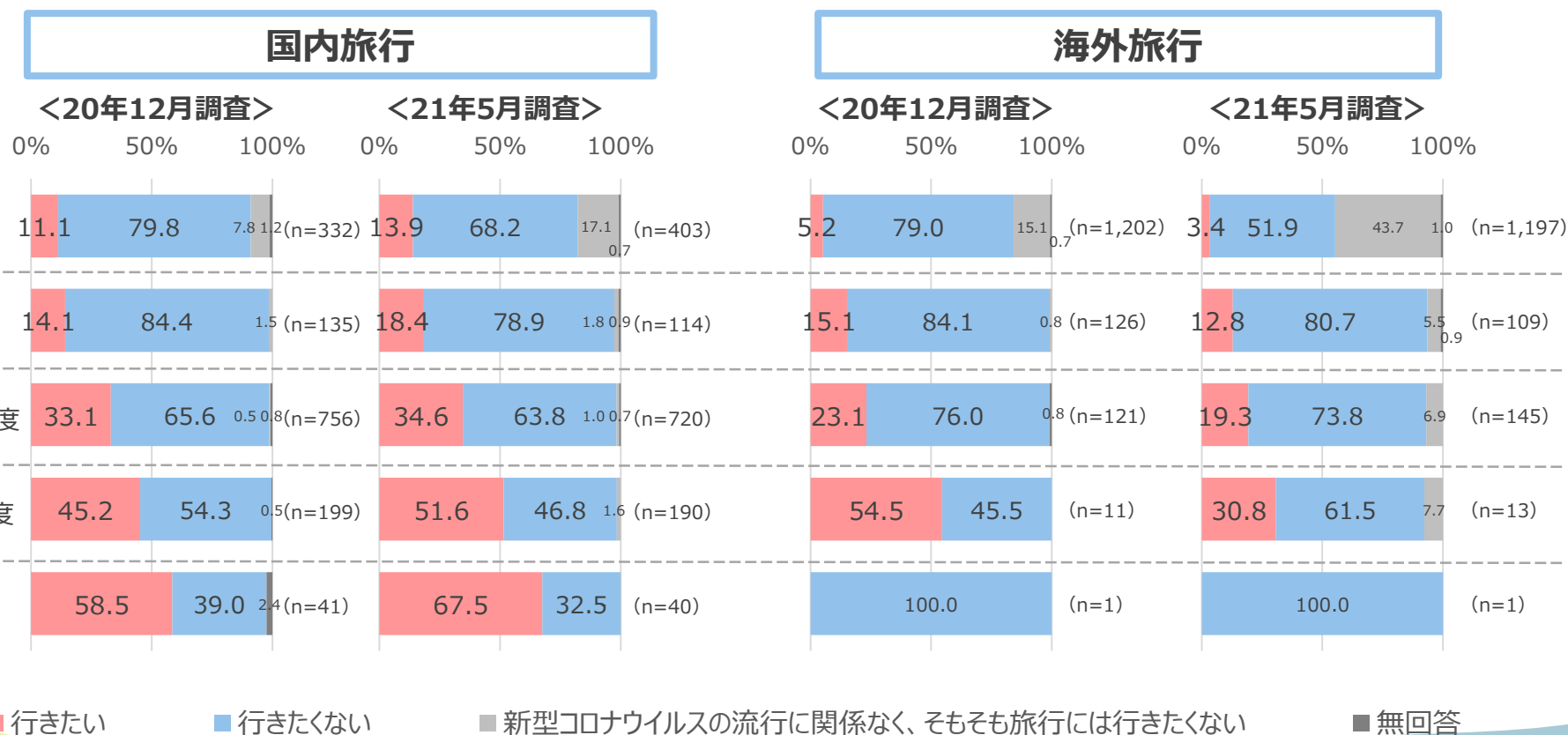


■ 行きたい ■ 行きたくない ■ 新型コロナウイルスの流行に関係なく、そもそも海外旅行には行きたくない ■ 無回答

コロナ禍での旅行 普段の旅行頻度が高いほど意欲的

- 普段の旅行頻度別にコロナ禍における旅行意向を見ると、国内旅行、海外旅行いずれにおいても、旅行頻度が高いほど、旅行意向が高い傾向が見られました。
- 国内旅行について見ると、年3回以上旅行に行く層（年3～5回程度と年に6回以上行く層）では、「行きたい」が半数以上を占めたほか、20年12月に比べ21年5月の方が旅行意欲が高まりました。

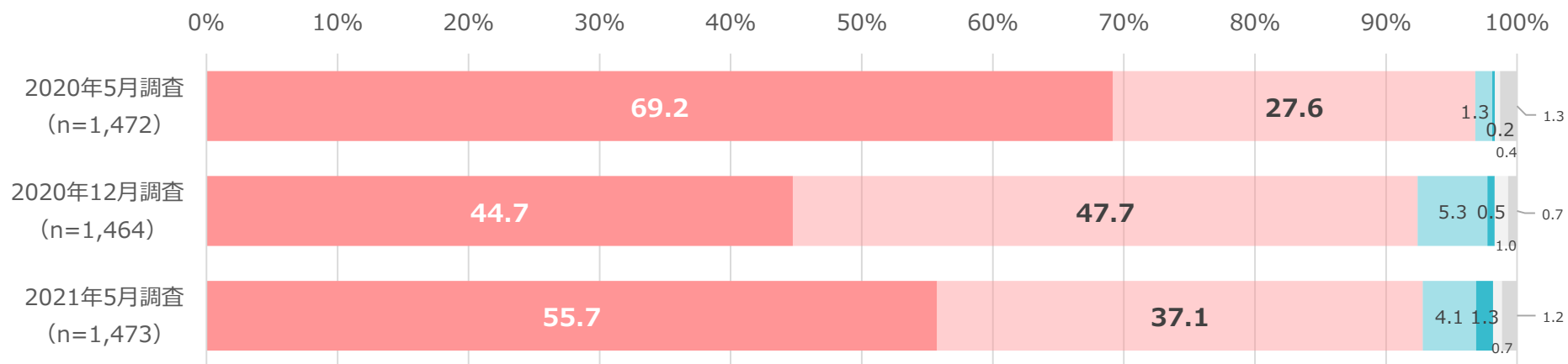
Q. 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いませんか。



政府や自治体の要請 長期化に伴い影響弱まる

- 旅行を実施するかを判断するときの政府や自治体の要請に対する意識は、「要請に従って判断する」が20年5月調査では7割を占めましたが、20年12月調査、21年5月調査では4割～6割に減少しました。なお、緊急事態宣言が解除されていた20年12月には「要請は気にしつつも、自分で状況を分析して判断する」が「要請に従って判断する」を上回りましたが、緊急事態宣言が再度出された21年5月には、「要請に従って判断する」が逆転しました。
- 政府や自治体の要請は気にしない層（「自身でリスクの大きさを想定して判断する」と「周囲の行動に合わせて判断する」の合計）もやや増加し、コロナ禍の長期化に伴い、公的要請への意識も変化しています。

Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。



- 政府や自治体の要請に従って判断する
- 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自身でリスクの大きさを想定して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、周囲の行動に合わせて判断する
- その他
- 無回答

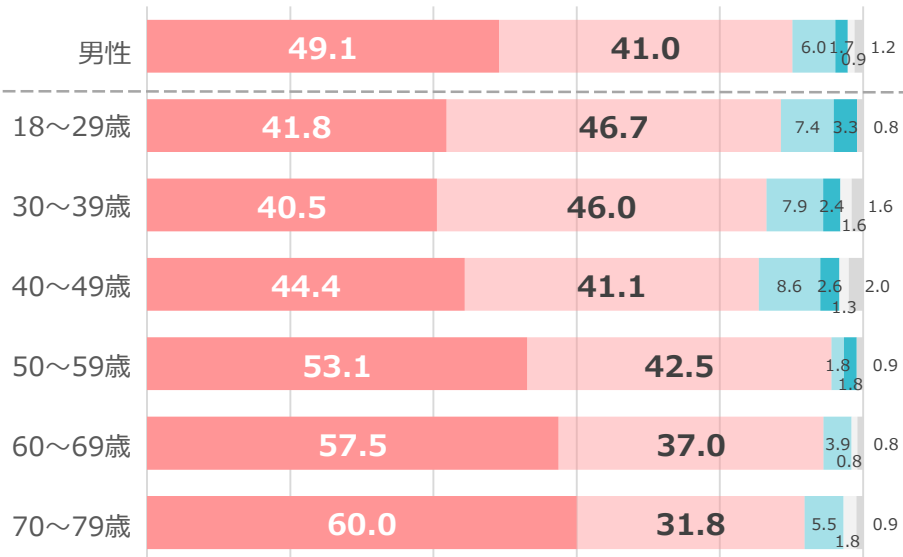
政府や自治体の要請 女性の方が気にする傾向

- 政府や自治体の要請に対する意識を性別に見ると、「要請に従って判断する」が男性は49.1%、女性は62.6%、「要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する」が男性は41.0%、女性は33.0%となり、男性の方が要請だけでなく自身の判断に基づいて行動する傾向が見られました。
- 男性の20～40代では、政府や自治体の要請を気にしない層が1割を占めました。

Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。
 <21年5月調査>

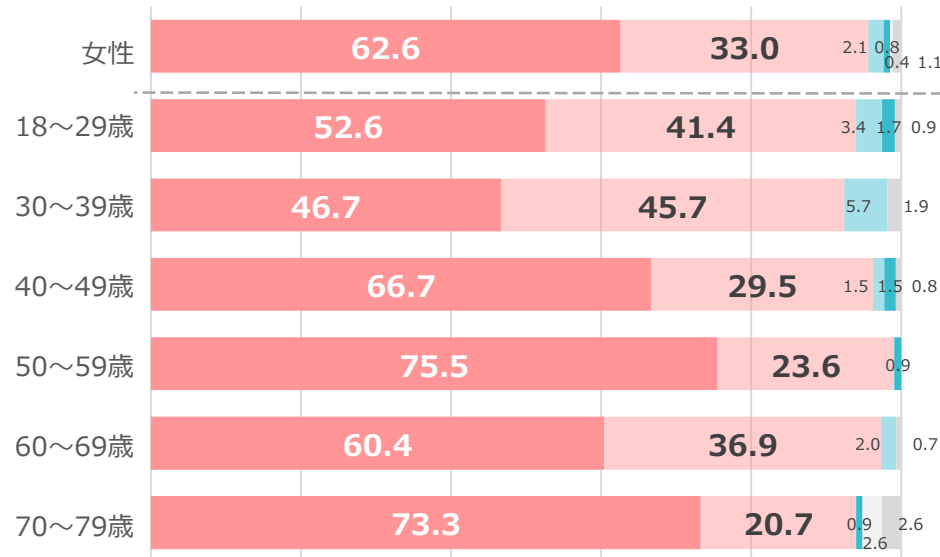
男性 (n=749)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



女性 (n=724)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 政府や自治体の要請に従って判断する

■ 政府や自治体の要請は気にせず、自身でリスクの大きさを想定して判断する

■ その他

■ 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する

■ 政府や自治体の要請は気にせず、周囲の行動に合わせて判断する

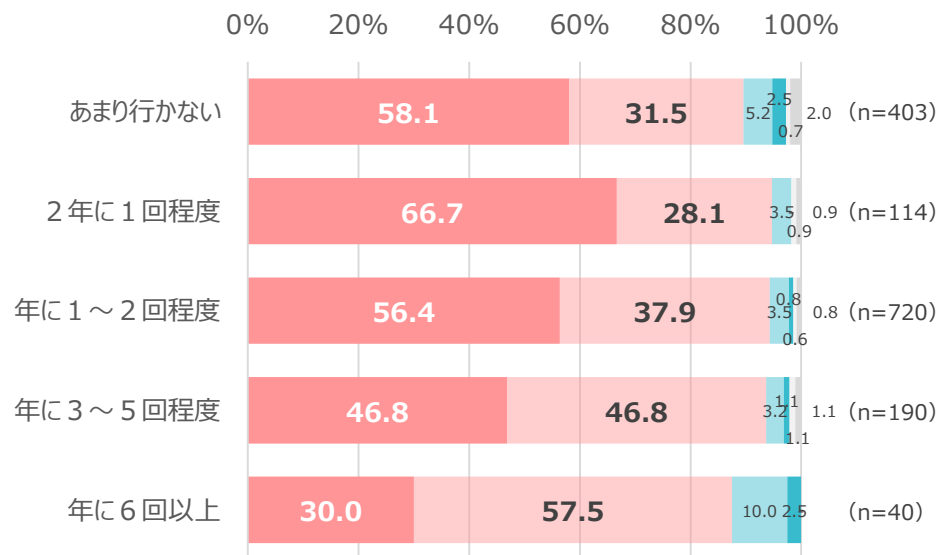
■ 無回答

政府や自治体の要請 旅慣れた人ほど自身の判断も重視

- 政府や自治体の要請に対する意識を普段の国内旅行頻度別に見ると、2年に1回以上行く層では、普段の旅行頻度が多いほど、「要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する」が高くなりました。
- 2020年の国内・海外の観光レクリエーション旅行の実施有無別では、旅行に一度も行かなかった層の方が、「要請に従って判断する」が高く、6割を占めました。

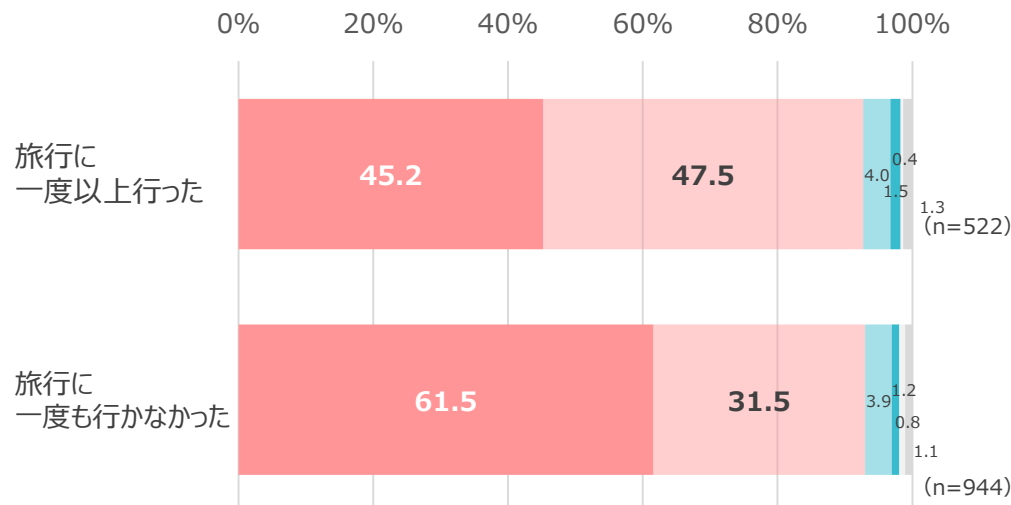
Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。
 <21年5月調査>

普段の国内旅行頻度別



- 政府や自治体の要請に従って判断する
- 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自身でリスクの大小を想定して判断する
- その他

2020年1月～12月の国内・海外の観光レクリエーション旅行の実施有無別



- 政府や自治体の要請に従って判断する
- 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自身でリスクの大小を想定して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、周囲の行動に合わせて判断する
- 無回答

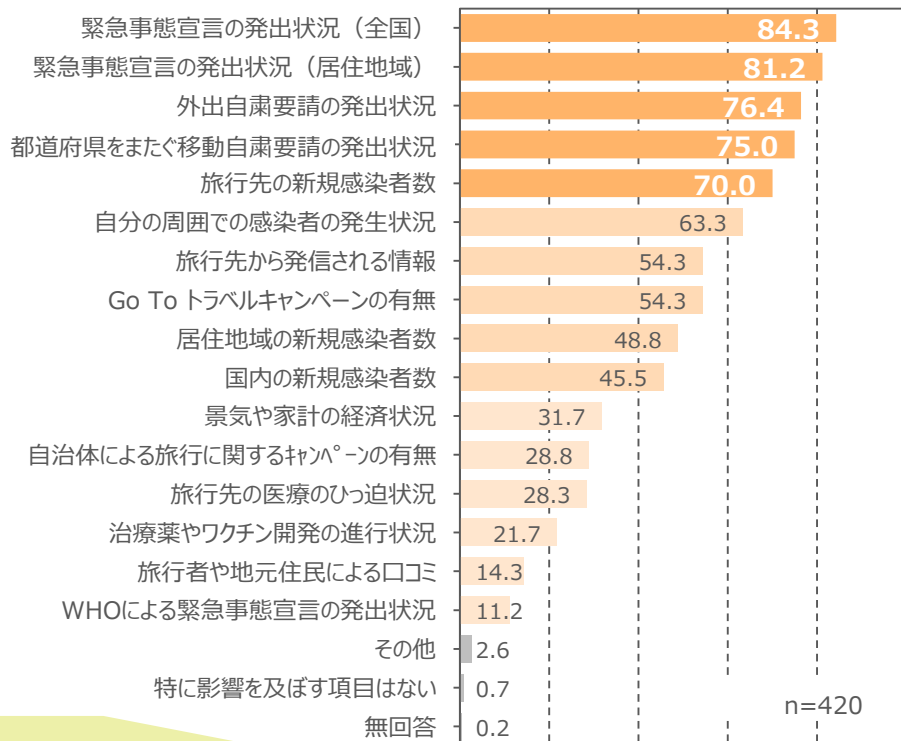
国内旅行の実施 緊急事態宣言、移動・外出自粛要請、旅行先の感染者数の影響大

- コロナ禍における国内旅行の実施判断に影響を及ぼす項目は、緊急事態宣言や移動・外出自粛要請等の発出、旅行先の新規感染者数が上位を占めました。また、20年12月調査から21年5月調査にかけて上位の構成に大きな変化はありませんでした。
- 21年5月調査では、新たに追加した「自分のワクチン接種の有無」が6位（45.3%）に入り、ワクチンの接種が完了したかどうかも国内旅行の実施判断に影響を及ぼす結果となりました。国内では、21年5月以降、65歳以上の高齢者のワクチン接種が本格化しましたが、ワクチン接種が進むにつれてこの影響度がどう変化するかも注目されます。

Q. 現在のコロナ禍において、国内の旅行を実施するかどうかを判断するときに影響を及ぼす項目は何ですか。【複数回答】

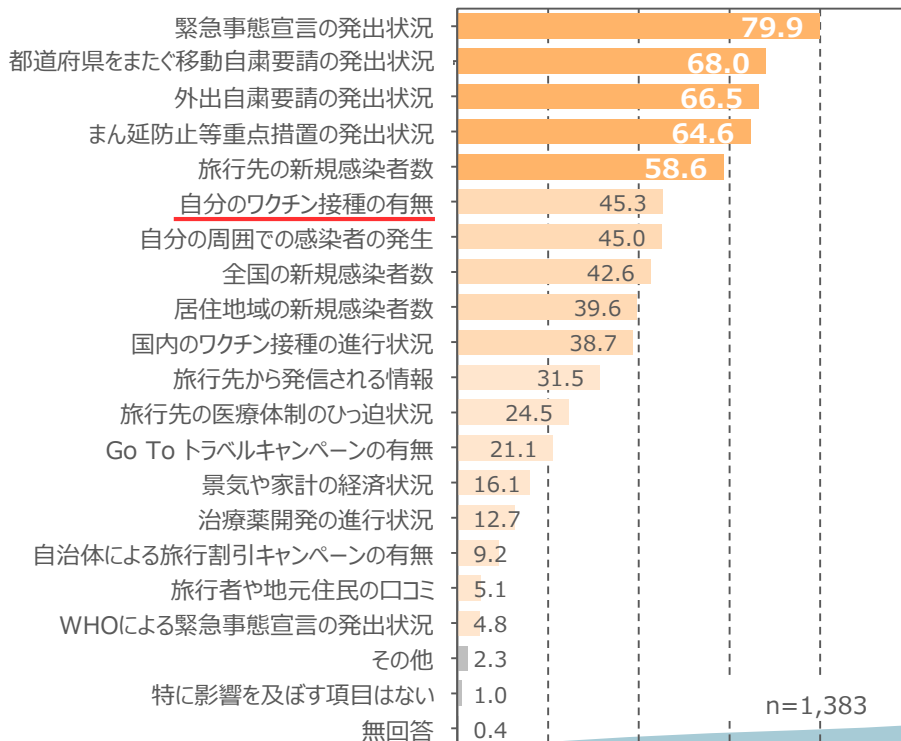
<20年12月調査>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<21年5月調査>

0% 20% 40% 60% 80% 100%

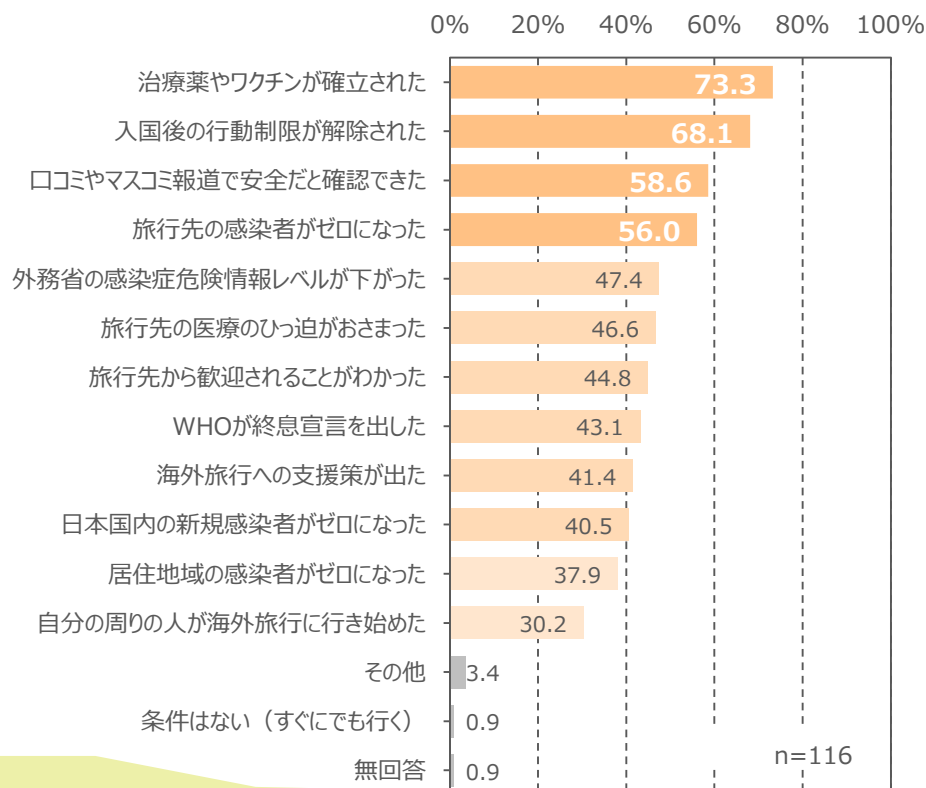


海外旅行の実施 治療薬やワクチンの確立、自身のワクチン接種が条件

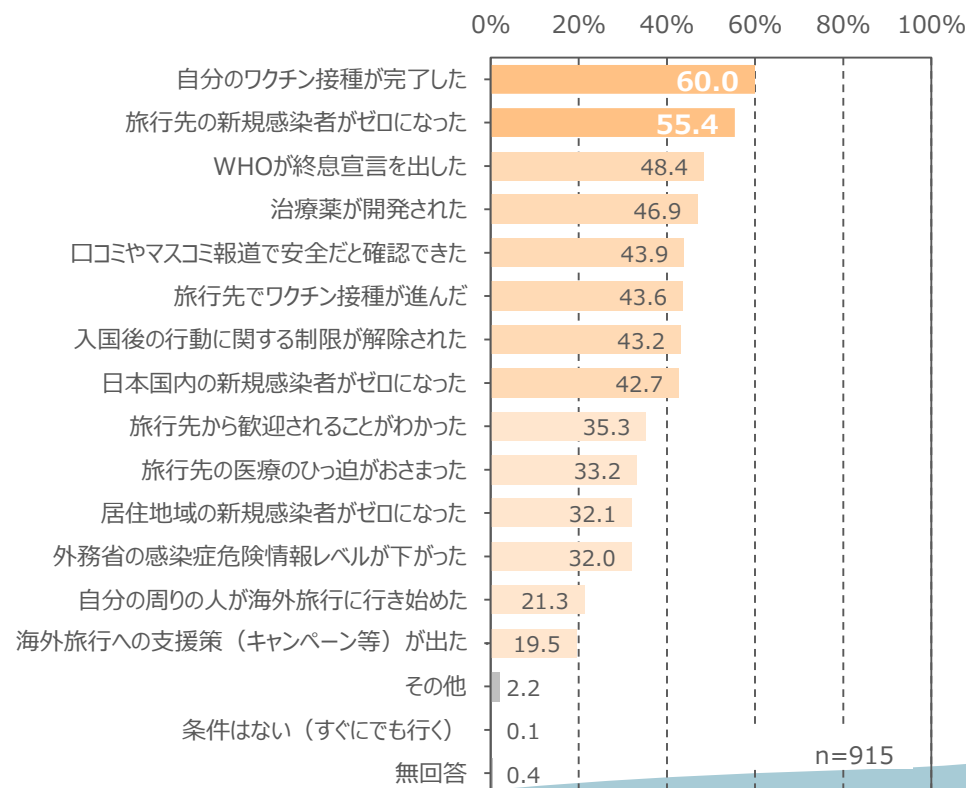
- 海外旅行の実施条件としては、20年12月調査では「治療薬やワクチンが確立された（73.3%）」が、21年5月調査では「自分のワクチン接種が完了した（60.0%）」が最も高く、海外旅行の実施に際してもワクチン接種への期待が高くなっています。

Q. 渡航制限や旅行先の入国制限が緩和された後、どのような条件が満たされれば海外の旅行を実施したいと思いますか。【複数回答】

＜20年12月調査＞



＜21年5月調査＞



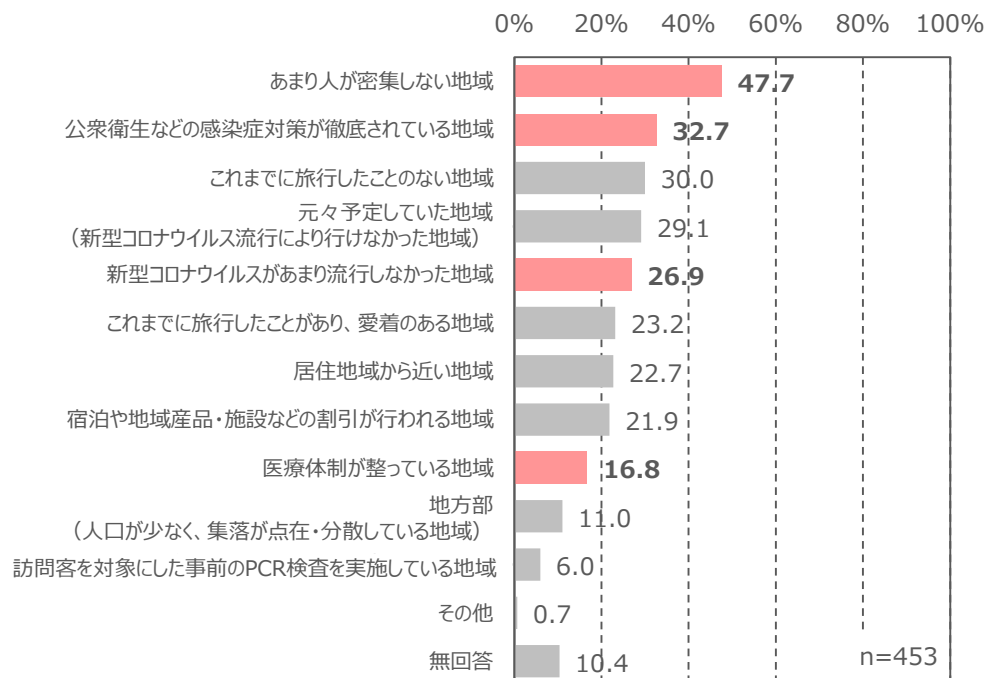
コロナ禍での旅行先の選択 密の回避、感染症対策が必要条件に

- コロナ禍に行きたい地域として、半数近くが「あまり人が密集しない地域」を挙げました。一方、あまり行きたくない地域としては、6割が「感染者が多かった地域」、「人が密集しやすい地域」を挙げています。
- このことから、混雑回避策や公衆衛生の徹底といった感染拡大防止策は、地域が選ばれる必要条件として捉えられていると考えられます。

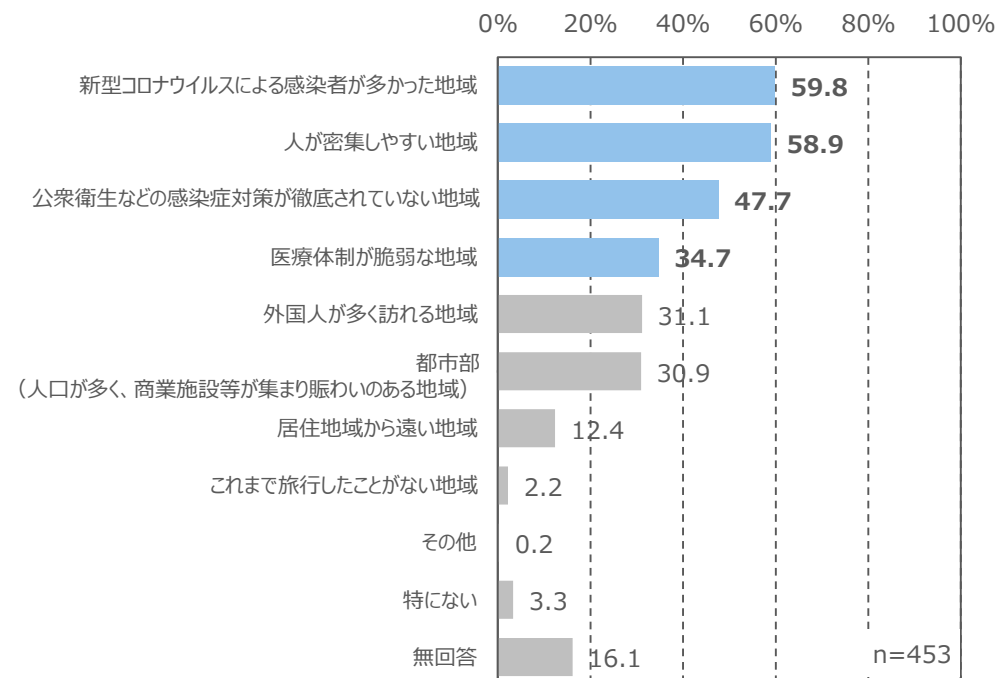
Q. 現在のコロナ禍における旅行では、どのような地域に行きたい／あまり行きたくないと思いますか。【複数回答】

<20年12月調査>

行きたい地域



あまり行きたくない地域



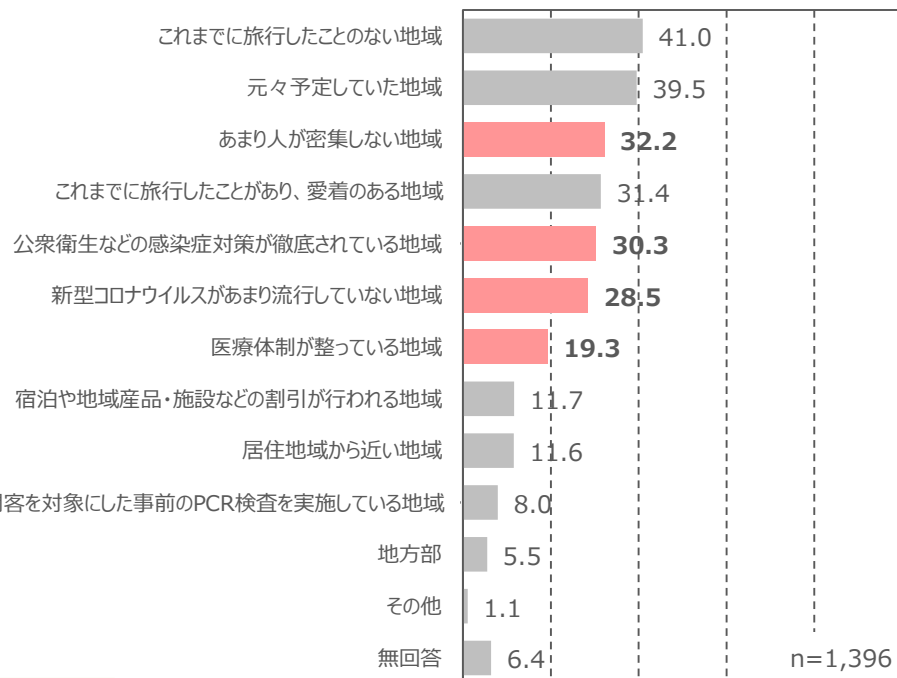
今後の旅行先の選択 観光地本来の魅力も重要に

- 今後の旅行で行きたい地域として、4割が「これまでに旅行したことのない地域」、「元々予定していた地域」を挙げ、コロナ対策だけでなく観光地本来の魅力も選ばれる理由として重視されていました。
- 一方、あまり行きたくない地域としては、「感染者が多い地域（74.3%）」、「感染症対策が徹底されていない地域（59.4%）」、「人が密集しやすい地域（53.9%）」が多くなりました。

Q. 今後の旅行では、どのような地域に行きたい／あまり行きたくないと思いますか。【複数回答】〈21年5月調査〉

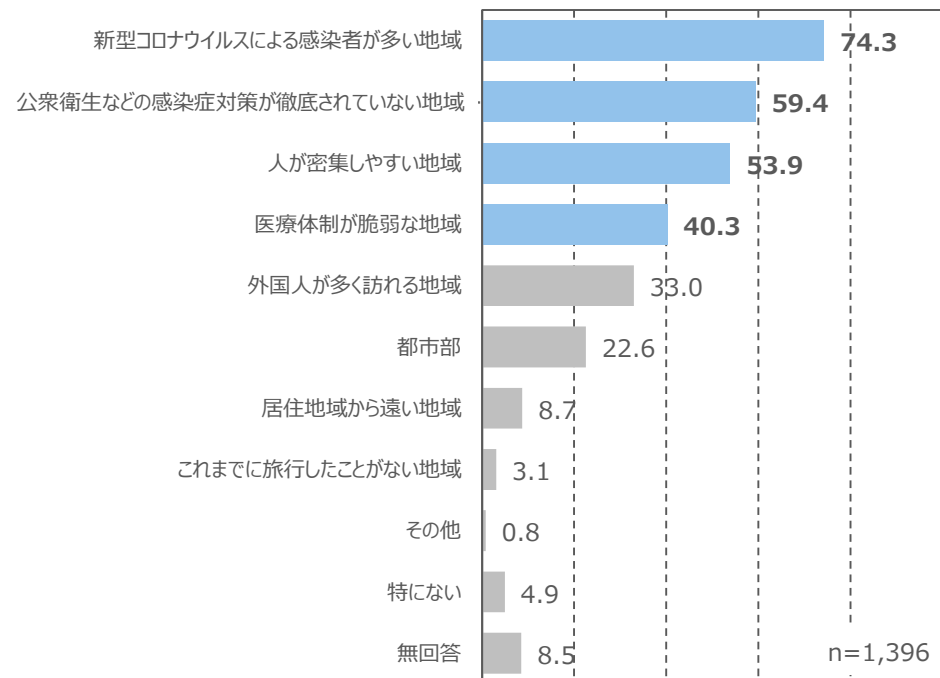
行きたい地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



あまり行きたくない地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その14）

～ JTBF旅行意識調査結果より ～

2021年10月4日発行

公益財団法人日本交通公社

観光文化振興部・観光地域研究部

五木田 玲子 / 安原 有紗 / 仲 七重

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>